

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第29週 (ARIのみ第28週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (29 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 4 例、百日咳 40 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			90歳代	女	肺結核	発熱
			90歳代	男	肺結核	痰、発熱、呼吸困難
		延岡	50歳代	男	肺結核	咳、痰
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	女	EBウイルス	全身倦怠感、発熱、肝機能異常
	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	高鍋	90歳代	女	—	ショック、急性呼吸窮迫症候群、 中枢神経症状、その他
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
		小林	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、梅毒性バラ疹
		日向	40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳

	疾患名	報告 保健所	報告数	年齢群								症状
				0~4歳	5~9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	70歳代	80歳代	
5類	百日咳	宮崎市	18例	1	3	9	1	1	1	1	1	持続する咳、夜間の咳き込み、 嘔吐、その他
		都城	7例	1	2	3			1			
		延岡	6例		2	4						
		日南	3例			3						
		高鍋	4例		1	3						
		中央	2例			2						

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 29 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 428 人(定点当たり 24.8)で、前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、伝染性紅斑、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。また、第 28 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,291 人(定点当たり 46.1)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 133 人(4.8)で、前週比 196%と増加した。年齢群別は 20 歳未満と 60 歳以上がそれぞれ全体の約 3 割ずつを占めた。

【伝染性紅斑】

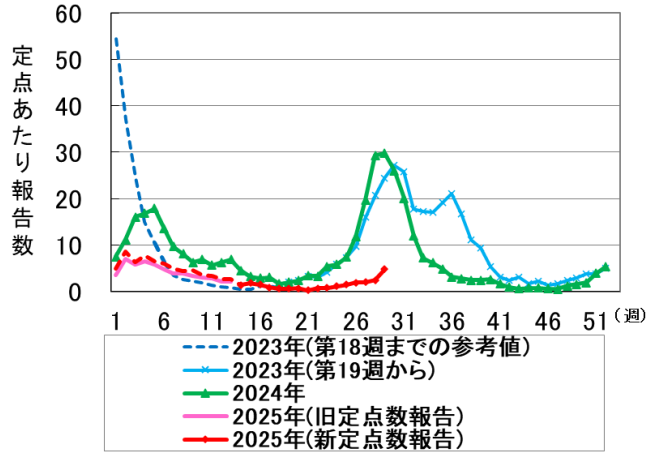
報告数は 38 人(2.5)で、前週比 165%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約 5.1 倍であった。年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約 7 割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は 57 人(3.8)で、前週比 121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.6)の約 1.1 倍であった。年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

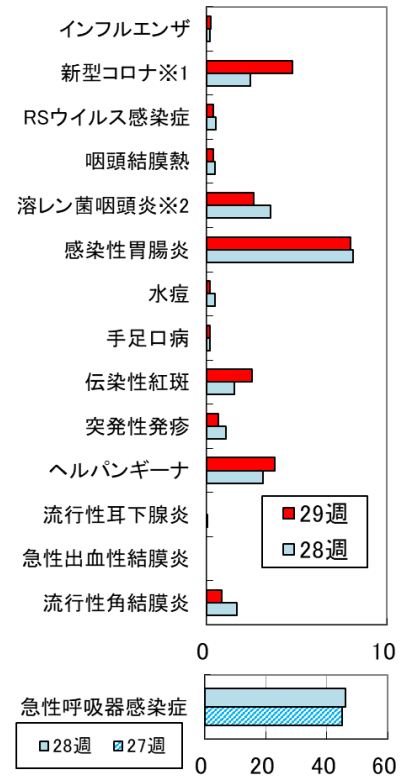
新型コロナウイルス感染症 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週
～第18週分のデータは、定点医療機関から
の報告数をもとに算出した参考値

《前週との比較》

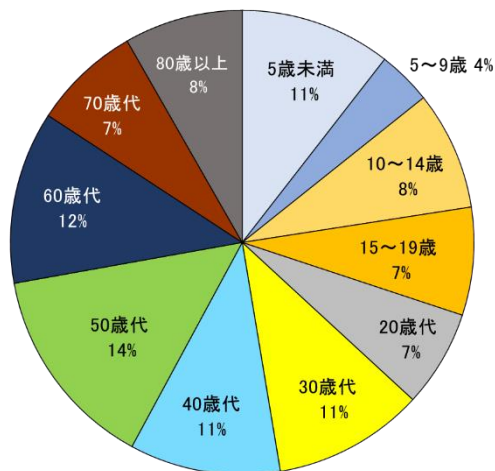


定点あたり報告数

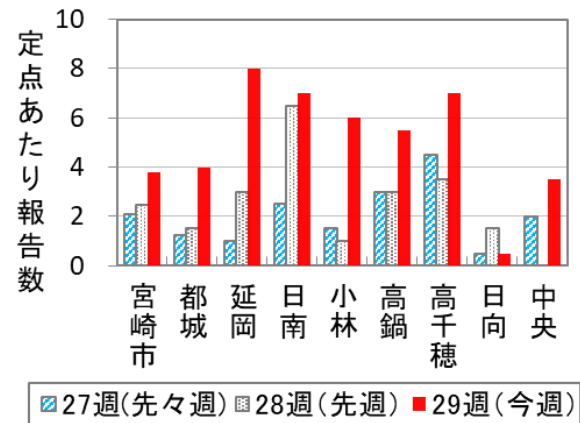
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

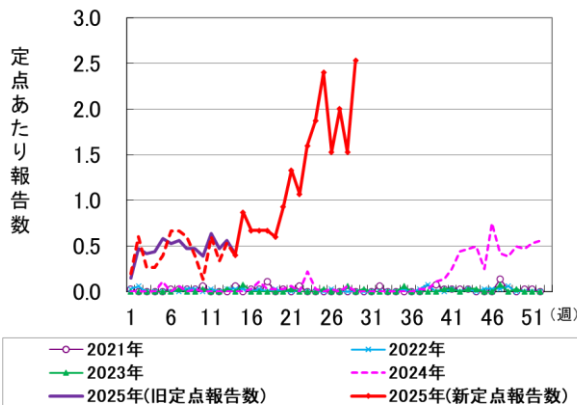
新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第29週)



新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

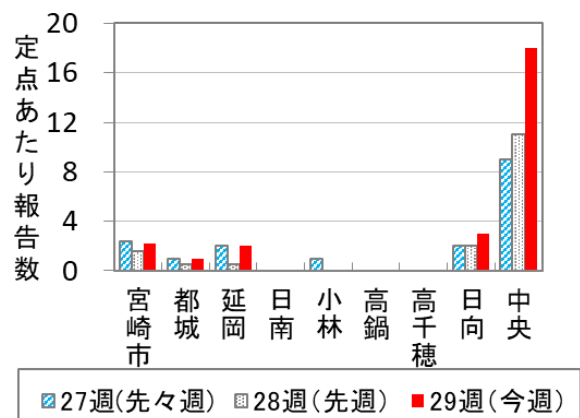


伝染性紅斑 発生状況

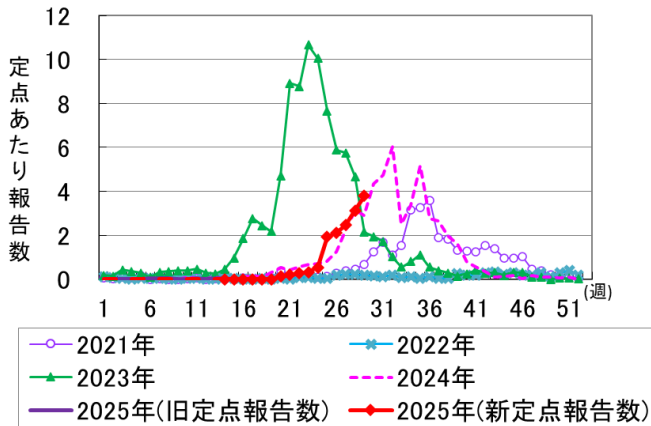


※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)

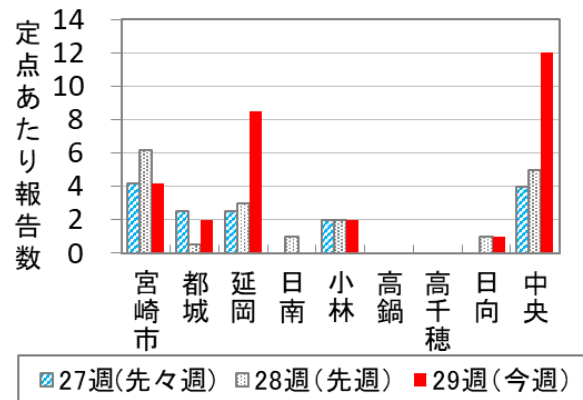


ヘルパンギーナ 発生状況



※2025年(新定点数報告)の第14週までは、
新定点医療機関数をもとに算出した参考値

ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.1)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は10～14歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(2.2)
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(2.0)、ヘルパンギーナ(8.5)
日南	水痘(1.0)
小林	感染性胃腸炎(29.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	感染性胃腸炎(26.0)、伝染性紅斑(3.0)
中央	伝染性紅斑(18.0)、ヘルパンギーナ(12.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(2025年第28週:7月7日～7月13日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			4
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		1
	4型		2
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			2
受付検体数			9

○ 急性呼吸器感染症(ARI)※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 7 月 21 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Enterobacter bugandensis</i> EBC型(+)	80歳代	男	2025.04.24	発熱	喀痰	2025.05.13
<i>Vibrio cholerae</i> non-O1, non-O139	80歳代	女	2025.07.04	発熱、水疱、下痢	血液	2025.07.11

○80 代男性から AmpC 型 β ラクターマーゼを産生する *Enterobacter bugandensis* が検出された。*Enterobacter* 属は元来染色体上に AmpC をコードする遺伝子を保有しており、AmpC 型 β ラクターマーゼ遺伝子を検査したところ *Enterobacter* 属由来の EBC 型が陽性となった。

80 代女性から非 O1, 非 O139, コレラ毒素(CT)非産生性の *Vibrio cholerae* が検出された。感染症法において問題となるのは CT 産生の O1 または O139 のコレラ菌で、三類感染症に分類される。コレラ菌が疑われる場合には、血清型の確認及び CT 産生性の確認が重要である。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Adeno virus 2 [※]	0～4歳	女	2025.04.28	急性気管支炎、38.0℃	鼻汁	2025.07.11
Influenza virus A H1pdm09	10歳代	男	2025.06.16	インフルエンザA型、40.2℃、頭痛、上気道炎、嘔気、嘔吐	咽頭ぬぐい液	2025.07.08

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

🇯🇵 全国 2025 年第 28 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	255 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	129 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	10 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	7 例	日本紅斑熱	14 例	マラリア	2 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	39 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	17 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例	水痘(入院例)	14 例	梅毒	187 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	5 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	3682 例	麻しん	10 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比 103%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、水痘、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、伝染性紅斑であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 100%と横ばいであった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,410 人(2.3)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 1.0 倍であった。栃木県(5.3)、愛媛県(5.0)、埼玉県(4.1)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 4,847 人(2.1)であった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.6)の 3.7 倍であった。山形県(5.8)、島根県(4.6)、栃木県(4.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	7	3		3						1
	定点当り	0.21	0.25	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	68	133	34	16	24	14	12	11	14	1	7
	定点当り	2.43	4.75	3.78	4.00	8.00	7.00	6.00	5.50	7.00	0.50	3.50
RSウイルス感染症	報告数	8	6	1		1		2			2	
	定点当り	0.53	0.40	0.20	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	6		3				1			2
	定点当り	0.47	0.40	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	53	39	21	5	1		2	7	1		2
	定点当り	3.53	2.60	4.20	2.50	0.50	0.00	2.00	7.00	1.00	0.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	122	120	25	20	4	6	29	3	1	26	6
	定点当り	8.13	8.00	5.00	10.00	2.00	6.00	29.00	3.00	1.00	26.00	6.00
水痘	報告数	7	3	2			1					
	定点当り	0.47	0.20	0.40	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	3	3								
	定点当り	0.20	0.20	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	23	38	11	2	4					3	18
	定点当り	1.53	2.53	2.20	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00	18.00
突発性発しん	報告数	16	10	3		3		2	2			
	定点当り	1.07	0.67	0.60	0.00	1.50	0.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	47	57	21	4	17		2			1	12
	定点当り	3.13	3.80	4.20	2.00	8.50	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00	12.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	5	2	2	1						
	定点当り	1.67	0.83	0.67	1.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.29	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第28週 (07月07日～07月13日)

		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1262	1291	367	84	142	91	154	45	134	184	90
	定点当り	45.07	46.11	40.78	21.00	47.33	45.50	77.00	22.50	67.00	92.00	45.00

ARI定点 : 28、小児科定点 : 15 (ARI定点を兼ねる)、眼科定点 : 6、基幹定点 : 7

●全数把握対象疾患累積報告数 (2025年 第1週 ～29週 保健所受理分)

2類感染症	結核	71例(4)				
	腸管出血性大腸菌感染症	10例				
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	13例
	レジオネラ症	4例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例(1)	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12例(1)	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	18例	水痘(入院例)	2例
	梅毒	82例(4)	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	1例
	百日咳	1,200例(40)				

()内は今週届出分、再掲